

食に対する興味・関心を高める体験活動

月形町立月形小学校

1 取組の概要

月形小学校では、毎年、学年ごとに親子レクを行っており、春の学年懇談の中で、その年に何をするのか話し合いがもたれる。今年度、第3学年の保護者から、「親子で料理をしたい。」という要望が出されたことから、学級担任と栄養教諭が連携し、「親子料理教室」を開催することとなった。

2 取組の実際

(1) 学校園での栽培活動

月形小学校の学校園は、学年ごとに15㎡の広さがある。児童は、料理教室で自分たちが育てた野菜を使うことを想定し、かぼちゃ、さつまいも、じゃがいも、人参を栽培することにした。児童は、大きく育てておいしい料理をつくらうという願いをもち、野菜の世話を続けた。

(2) 特産品の調査活動

第3学年では、社会科の「農家の仕事」、総合的な学習の時間の「さぐる！月形」で月形町の特産品を調べることとしていることから、今回の栽培活動と関連付けて学習を進めた。

ゲストティーチャーとして、「月形新鮮組」代表の堂前さんを招き、

- ・月形町でどんな野菜がつくられているか
- ・おいしい野菜の見分け方等

などについて教えていただいた。また、野菜の出荷の様子や選果場を見学したり、月形町の野菜でつくられた銘菓を試食したりして、楽しみながら月形町の野菜や地域性を学ぶ

(3) 親子料理教室の開催 平成24年11月9日

ア 献立は給食メニュー

今年度、食育の取組を行うに当たって、保護者に、給食について、もっと知ってもらうことを目標とした。そこで、今回の親子料理教室の献立も、実際に給食に出されているメニューにある、

- ・パセリごはん 32円
- ・マカロニのクリーム煮 130円
- ・サラダ（バイキング方式） 35円
- ・牛乳 37円

の4品を給食1食分と同じ234円で作ることとし、児童が学校園で栽培した野菜や地場産物を使用した。

イ 子どもの調理を保護者が支援

マカロニのクリーム煮に使うホワイトソースの調理方法は、給食センターと同じであることを説明し、バターと小麦粉からつくった。時間は、30分以上かかったが、手間をかけ、手づくりすることでおいしくなり、調味料や添加物など、食の安全性に関する栄養教諭の考え方がしっかり保護者に伝わった。ホワイトソースづくりは、根気のいる作業となったが、児童は交代しながら取り組み、そのできあがりに、保護者からは、感嘆の声があがった。

サラダに使う野菜は、児童が分担して切ったり、ゆでたりして大皿に盛り付け、栄養教諭が値札を置いた。



【値段を見ながらのバイキング】

児童は、値札を不思議そうに見ていたが、栄養教諭から給食1食分は234円であることや、今回のメニューの金額内訳を説明されると、サラダは、35円分のバイキングでできることを理解した。また、栄養教諭から、値段を考えることも大事だが、栄養のバランスを考えることが大切であると

説明を受けた。その後、用意された食材に関する栄養素の働きをまとめた表を手に、親子で相談しながら、野菜を皿に盛り付けた。

3 成果と課題

(1) 成果

- ア 子どもたちは、給食や栄養バランスに対する関心を高めることができた。
- イ 月形町で生産される食材を理解するとともに、地域への関心を高めることができた。
- ウ 給食などでは、協力し合って楽しく食事をするができるようになった。
- エ 保護者が、給食について、一層理解したことにより、食育に対する関心が高まった。

<児童の作文からの抜粋>

- 私は、マカロニのクリーム煮をつくるのが楽しかったです。バターを溶かして小麦粉に入れて炒めるとき、色が茶色になって失敗したかと思いました。しかし、完成したら、とてもおいしくて失敗じゃないと思いました。みんなで食べて、とてもおいしかったです。

<保護者の感想からの抜粋>

- ルーを30分以上炒めたのは、子どもにとっていい経験になったと思います。1食234円の中でバランスよく食べるのは難しいが、家庭でもたくさんの食品を食卓にのせたいです。子どもと親が、楽しく料理できました。学校園のかぼちゃもおいしかったです。
- 子どもが、毎日、「おいしい」と言って楽しみにしている給食に以前から興味があったので、今回どのようにつくられているか知ることができてとてもよい経験となりました。いつもこのように手間をかけ、おいしい給食を提供していただいていることに改めて感謝します。

<保護者アンケートからの抜粋>

「本日の体験を通して、食育に対する関心が高まりましたか」

- ・ とても高まった 86%
- ・ どちらかといえば高まった 14%

(2) 課題

各教科等の関連を図った横断的な活動となることから、指導計画をしっかりと立て、見直しをもって指導する必要がある。